

第1回勝山市立中学校再編準備委員会 議事録

(1)日 時：令和6年4月26日（金）午後7時より（勝山市体育館 ジョアリーナ 研修室）

(2)参加者：準備委員20名（2名欠席）、事務局10名、報道2名、傍聴3名

(3)内 容

①開会

②委員委嘱

③委員長・部会長の選出

④教育長あいさつ

⑤協議事項

・今年度の取組みについて

①～③《開会・委員委嘱・委員長・部会長の選出》

- ・委嘱書は机上に配布。
- ・設置条例に従い委員長を互選。
- ・準備委員会委員長に清川 亨氏（福井大学大学院連合教職開発研究科教授）、
- ・総務部会長と学校運営部会長に清川 亨氏、
P T A部会長に木下克則氏（勝山高校同窓会長）、
施設整備部会長に西本雅人氏（福井大学学術研究院工学系部門准教授）
を選任。

《委員長・部会長あいさつ》

委員長 ・皆さん、こんばんは。明日、明後日と大学の東京サテライトがあつて授業のようなことをする。間に合わないということで申し訳ないがこちらで参加させていただく。昨年に続いてということでもよろしくお願ひしたい。再編することが目的ではなくて手段かと思うので、この再編によってどんな子どもに育ててほしいのか。最上位目標というか常にそこに立ち戻って今決めようとしていることがそれでいいのかと考えていきたいと思っているので、皆様、どうぞよろしくお願ひしたい。

部会長 ・議会の方を経て面積を少し減らしたという話もこれから出てくるかと思うが、工事に向かつて進みだしていくことが決まりそうだが、工事はそれで終わりではなく、完成するまで、そして完成した後も教育についてどんどん考えていかないといけないと思っている。教育を実現するのが建築だと思うので、どういう教育かというところも含めて、皆様とこれから学んでいきたいと思うので、知恵を出していただければと思う。よろしくお願ひしたい。

部会長 ・今年度もP T A部会長を拝命させていただいた。また今年度もどうぞよろしくお願ひ

したい。一昨年、昨年とPTA部会長をさせていただいたが、この間、主にスクールバスの運行に関して議論を進めさせていただいた。今年からはもう少し実際のスクールバスの運用ルールとか、PTAの組織改正とか、いろいろなことにも踏み込んだ形で皆様と議論を深めていきたいと思っているので、今年一年、どうぞよろしくお願いしたい。

事務局 ・今年度最初なので、この会の進め方や設置のことを少しご説明させていただく。この準備委員会並びに専門部会、またワーキングチーム会議というのを設置しているが、そちらはお手元に配布させていただいた資料2の勝山市立中学校再編準備委員会条例と資料3の勝山市立中学校再編準備委員会開催要項に基づいて行わせていただくものなので、中身をご確認いただければと思う。またそれぞれの会議の資料や議事録については、後日ホームページにて順次公開をさせていただいているので、ご了承いただきたい。この後の進行は清川委員長にお願いしたいと思うので、よろしくお願いしたい。

委員長 ・では、本日のレジメに従って会を進めたいと思う。最初に教育長から挨拶をお願いする。

④《教育長あいさつ》

教育長 ・改めて皆さんこんばんは。令和6年度の第1回勝山市立中学校再編準備委員会ということで一言ご挨拶を申し上げたい。まず再編準備委員会の皆様方にはそれぞれ公私ともに大変お忙しいところ、この委員をお引き受けくださり、改めて感謝申し上げます。今回初めて委員になられた方もいらっしゃる。今日はキックオフということで、この後事務局の説明、私の説明においてはこれまでの経緯や現状、それから今年度どういうことに取り組んでいくかという検討課題をそれぞれ説明をさせていただきたい。今日はそういう説明を聞く時間が中心になるのかと思っている。いろいろとお聞きになって、その後でいろいろ質問やご確認の発言をいただければありがたいと思うので、短い時間だがよろしくお願いしたい。

・まずこの再編準備委員会は、令和4年度からスタートしていて令和6年度は3年目となる。これまでの2年間で先ほど資料説明があったが、勝山市立中学校の建設基本計画を策定した。それを基に、昨年度1年間は主に新しい中学校の校舎やジオアリーナと学校を結ぶ地下横断歩道の基本設計を中心に進めてきた。本日の資料で、後ろの方に参考資料2があるので、見ていただきたい。A3判を織り込んだものでこれは広報かつやまの今年の1月号の抜粋で一部編集したものである。基本設計を1年かけてやってきて、これは1月段階でのものを市民の皆様にも周知するというので、広報かつやまに掲載をさせていただいた。1月時点ということで、実は少し変更している部分があるが、おおむねこの形で基本設計を終えているということである。簡単に説明をさせていただくと、校舎が1階、2階、3階と書いてあるが、1階のところから真ん中辺りに1年生の広場というものがある。2階に上がるとこれも真ん中に図書エリア、閲覧スペースと書いてある部分がある。広い部屋でこれは図書館の機能を持つ部屋である。3階に上がると、調べ学習室というのが真ん中左のところに書いてある。この1階2階3階の部屋を学びの丘というコンセプトで、設計の中心、学校の特徴として検討しようという形になったものである。

・1階と2階をつなぐところに大階段というものが東側、西側と2か所設置している。

この大階段というのは福井駅の新幹線の方にあるが、ご覧になった方がいらっしゃるか。あれをイメージしていただければと思うが、観光客の方が座って話をしたり、スマホで調べ物をしたりというような光景が見られる。それを学校のところに2か所設置をして、授業とかいろいろな学校行事とか生徒会の行事、普段の昼休みとか放課後とか生徒の語らいの場とか、2階で借りた本を読むとか、1年を通してたくさん使ってもらいたいという思いで設置をしたものである。

- 同じ1階のところには少し小さいが、1年生の広場の左側の方に相談室と書いてあるところがあって、3室設けてある。これは不登校とかで学校に来づらい生徒、時々学校に来て先生と話したり友達と話したりというようなときに活用する部屋として設けているが、生徒玄関から入らなくても直接この部屋に入れるように出入り口を設けて授業中などにそこから入る配慮をしているものである。
- 2階に上がると右側の方ジオアリーナ側になるが、特別支援教室1、2、3と3部屋ある。廊下を挟んで前に通級教室というものもある。真ん中のところに破線が入っていて、特別支援教室は大きく3部屋なのだが、真ん中で区切って最大6部屋まで広げることができる。通級教室についても、2部屋まで広げることができる。これは集約することで対象の子ども達にとって効果的な支援ができるように考えたものである。
- 1階の一番東側、右側の方に給食室、調理室になるが、新中学校では自校給食をするということで、給食室をこの部分に設けさせていただいた。
- このような形で基本設計を一応終了ということで、現段階はさらに細かい設計、実施設計というものの作業に入っているところである。先ほど1月時点のものだと言ったが、現在最終的な形は少し変わってきていて、それは1階の東側、右側の方に職員室がある。この職員室のところはグラウンド側に少し出っ張っている。面積を少し削減したいということで、基本的な構造をいじらないで検討し、現在は職員室、グラウンド玄関、給食室があるが、この出っ張りのところを削減して、ちょうど左側の方にある1年生の普通教室の面で、ずっと給食室の方までまっすぐになっている。その関係で、グラウンド玄関は少し大きいグラウンド玄関になっているが、職員室と入れ替えをして、ちょうどこの図で言うと校長室と書いてあるところをグラウンド玄関にして、職員室とこの図のグラウンド玄関というところを大きく職員室として出っ張りを取った形をグラウンド玄関側に持っていった。そういう形の最終形になっている。
- 給食室については、この出っ張りを削減したのではなくて、その部分を北側というのはこの図の上側になるが、少し押し込んだ形、ずらした形。北側のところが少しその分出っ張っているというような形になっている。
- このような形で、他にもこのイメージ図がいろいろとあるが、例えば普通教室は現在の中学校よりも広い面積を確保している。それから廊下の幅も現在の中学校よりも広い幅にして、開放的な空間になるようにしている。
- 多目的室というのは、2階真ん中の図の一番西側左側のところを端に多目的室と書いてあるが、ちょうどこの1階の部分は、現在の勝山高校の生徒玄関にあたる部分になる。だから、この生徒玄関もきれいに直して2階の部分にこの多目的室というのを設けて、一学年学年集会ができる人数が入っているいろいろなことに使うということを想定した部屋を設けている。

- 右側のイメージ図の方では、給食室のちょうど2階になり屋外広場と書いてあるが、半分外という形で天井の高い屋根付きの広場を設けて、例えば外の部が雨が降ったり雪が降ったりしたときに簡単なトレーニングする場にしたりとか、あるいはクラスでのレクリエーションやいろいろな行事に使うとかを想定したものをここに設けさせていただいた。
- バルコニーというのは校舎の北側になり、北側というのは勝高側になるが、外のところにこのようなイメージ図でバルコニーを設けて、外も通れるということ。校舎の真ん中に廊下があるが、北側には外のバルコニーがあるというような形の校舎になっているという状況である。
- 参考資料の説明は以上で今日の資料にはないがもう一つは地下横断歩道になる。学校とジオアリーナをつなぐ国道の下を通る地下横断歩道だが、幅が5.5メートルという広い幅にして、高さが2.5メートルぐらいというもので、5.5メートルという幅を2つに分けて、外履きで歩く通行帯と内履きのままで歩く通行帯の2つを設けた形にしている。従って、学校からジオアリーナの方に、例えば授業とか部活とか、行事等で移動する場合には内ズックのままで移動ができる。下足帯というのは、ジオアリーナ側をスクールバスの発着場と考えていて、バスを降りた子、あるいは保護者の送迎で車で来た子はジオアリーナ側で降りて、地下横断歩道を通して玄関の方へ行く。そういうことで2つに分けている。セキュリティの面では両方、ジオアリーナ側と学校側の出入口のところを自動ドアにして、ICカードをかざす形でドアが開くということにして、そのICカードを持っていないと開かないというようにしてある。ただ、保護者の方とか外部で来られる方もいらっしゃるのので、そのICカードを読み取るリーダーのところにはインターホンをつけて、インターホンを押していただいて、その場合は職員室の方から自動ドアを解除するという仕組みを検討している。それから、内部には監視カメラ、死角がないように複数台設置をして、これは常時職員室の方でモニターで見ているというような体制とか、ジオアリーナ側の方で、大雨が降ったときに地下横断歩道の方に水が流れ込まないように止水板を立ち上げて防ぐようなことも検討を進めている。また、地下横断歩道のジオアリーナのところにはエレベーターを設置して、車椅子の生徒などの対応を考えている。
- これも図はないが、隣が勝山高校の特別教室棟で、音楽室とか美術室とか家庭科室という部屋がある。そういった部屋は中学校と高校で授業時間数を合わせてもそんなに多くはないので、共用するという形で音楽室、美術室などは2部屋を設ける。家庭科室も2部屋設けてある。理科室とか技術室、技術というのは中学校にしか授業がなく、理科は家庭科や音楽と比べると時間数が多いので、これは中学校が専用で使うという部屋として、これも特別教室との方で設置をしていただくように県の方でも配慮いただいて計画を進めている。そういった授業の場合は渡り廊下を通して隣の校舎、特別教室棟に行って授業を受けるという形になっている。この勝山高校の特別教室棟は県の方でリノベーションという大改修、校舎建設と合わせて、開校に間に合うように計画を進めていただいている。それから第一体育館もリノベーションするということが計画を進めていただいているので、新中学校が開校する令和9年4月には、中学生が使わせていただく共用の部分、体育館も含めてリニューアルしてきれいな形でスタートできると考えている。施設関係は以上になる。
- それから、昨年度は新中学校の校名、制服、体操服の選定作業も進めて、年度末のと

ところでそれぞれ決定をさせていただいた。校名については勝山市立勝山中学校で、それから制服、体操服については本日の参考資料1になるが、広報かつやまの4月号に掲載させていただいた。白黒で色がわからないが紺色のブレザータイプのもので決定をさせていただいた。先月の3月の勝山市議会において、令和6年度の当初予算の中には、新中学校の建設工事費が合わせて約43億円になるが、その予算もお認めいただいた。また中学校設置に関する条例があって、その条例も可決していただいた。これは勝山市立勝山中学校が令和9年4月1日に勝山市昭和町2丁目3-1、つまり勝山高校の住所、敷地内に開校するということが明記されている条例となる。いろいろな準備をこれからたくさんしていかなくてはいけないが、建設に関すること、設置に関する条例をお認めいただいたので、今年度はさらに開校準備を加速していきたいと思っている。

- ・今年度の再編準備委員会では、これは後ほど担当の方から部会ごとに説明をさせていただくが、主に中学校、高校が連携した教育の内容、またスクールバスや部活動、その他いろいろあるが、そういった検討を皆様方のご協力いただいて進めていきたいと考えている。今年度の小学校6年生が来年中学校に入って、1年生と2年生まではそれぞれ3つの中学校で勉強をするが、3年生になるのが令和9年4月になる。そのため3年生のときに3つの中学校から新しい中学校に移動、引っ越ししてもらってここで一つになる。今の5年生は中学校1年間3中学校で勉強して、2年生から新中学校に移る。4年生は新中学校の第1回の入学生になる。今年4、5、6年生が新中学校に入っていくというような状況で、6年生が来年中学校に入ると3年生のときに1つになるので、来年度から3つの中学校でそれぞれ勉強するが、授業の進み方や使う教材、いろいろなことを3中学校が相談しながら揃えていくようなことが必要だと思っている。3年生で1つになってからあれこれ勉強していないとか、学校によっていろいろガタを踏むということがないようにする。それを考えると今年度1年間、そういった教育内容も含めてしっかりと検討して決めていかなければいけないということである。
- ・最後になるが、本日の資料5をご覧ください。冒頭説明をしたが、勝山市立中学校建設基本計画の第1章のところを抜き出したものである。新しい委員の方は冊子でお配りをしているがこの資料を見ていただくと、4ページの下から目指す教育、次の5ページに目指す学校像、目指す生徒像、それから連携型中高一貫教育を生かした特色ある教育内容というものがそれぞれ掲載してある。先ほど清川委員長からも話があったが、特にこの新中学校が目指す学校像と生徒像。これは今我々が新中学校開校に向けた準備を進めていく上での最上位の目標。こういった学校にしたい、こういった子ども達を育てたいということで、いろいろな検討をしていくわけだが、ぜひお目通しをしていただいて、委員の皆様方も今後各部会とかいろいろなところでご協議をいただくときに、その方向性がこういう学校像、生徒像を実現する方向になっているかということも念頭に置いていただきながら、いろいろとご意見、アイデア等をお聞かせいただけるとありがたいと思っている。どうぞ、よろしくお願ひしたい。
- ・昨年の夏には3中学校の生徒全員を対象にして、我々教育委員会のスタッフが新中学校の概要を各学校に出向いて説明をさせていただいた。そのおりに、いろいろな意見を中学生からもいただいた。高校生が近くにいるということで、不安を覚えるという声もある。その一方で、期待しているとか楽しみだという声もたくさんいただいている。そういった一人一人の声をしっかりと受け止めながら、みんなが新中学校ができ

たときに安心して楽しく学校生活が送れるようなそういう学校づくりを目指していきたいと思っているので、ぜひ皆様方にも精一杯ご意見を出していただくということで併せてお願いしたい。子ども達、保護者、市民の皆様方にもいい学校ができたな、この学校に期待したいなという声がたくさん聞けるように頑張りたいと思っている。今年1年間、どうぞよろしくをお願いしたい。

委員長 ・ただいまの教育長のご挨拶として説明を聞かれて、質問とかご意見はどうか。今の説明の後半にもあったが、各会の代表ということで来られているの思う。今日のこの後もそうだし、次回以降もそうだが、ご自身の疑問とか質問とかはもちろん、会の中でこんな声があるとか、こういうふうなことを聞いてきてほしいとか言われていることがあったら、代表としてまずここで出していただければと思う。どんどんと遠慮なくご発言いただいた方が、よりいい議論になってよりいいものになっていくと思うので、どうぞよろしくをお願いしたい。教育長の説明については特になにか、よろしいか。

では、次に移る。次第の5になる今年度の取組みに入る。事務局から説明をお願いしたい。

⑤《今年度の取組みについて》

事務局 ・資料1をご覧いただきたい。先ほどご紹介があったように皆様の名前があり、各専門部会に所属していただきたいので丸印がついているご自身が所属される専門部会をご確認いただきたい。皆様も部会長様を中心に、それぞれの立場から活発な議論をお願いしたい。続いて資料4をご覧いただきたい。先ほど教育長の方からの説明があったが、再編準備委員会の条例の別表を基にしたものがここに挙がっている。太いゴシックは、5年度に引き続き協議していただくもの。少し斜めにゴシックが入っているが、6年度に協議を始めていただきたい内容である。これはあくまでも案なので、今後の協議を進めていく中で追加や修正が起こってくるかと思う。また、新たな事項が生じる場合には、その他必要な事項ということで追加をさせていただいて検討を進めていきたい。それでは今年度の各部会の主な協議事項について説明する。

事務局 ・総務部会と学校運営部会について説明をさせていただく。まず、総務部会については今ほど教育長から報告させていただいたが、校名の選定ということで、昨年度は総務部会の皆様方には校名を選定する選定方法から集まったたくさんの候補の中から一つのものに絞り込みを行っていく作業についてご協力をいただいて、最終的に勝山市立勝山中学校と決定をしていただくことができた。今年度はこれを踏まえて、いわゆる学校の象徴である、校章を決めていく作業に入りたいと思う。またあわせて校歌の方だが、今年度決めるわけではなくて、予算も伴うものなので、どういう方法で決めていったらいいのかについても少し検討をいただき、次年度に向けての予算要求等にも活かしていきたいと考えている。学校運営部会の方だが、これも今ほど話があったように制服・体操服を決めていただいた。この制服・体操服については、現在の小学校6年生の皆さんに今年から販売をするということになる。小学校6年生の皆さんに販売をするのに先立って入学説明会を各中学校が行っているが、その説明会の中で制服はこれを買ってほしいということを説明した後、新しい制服を購入いただくという手順になる。制服の方は令和7年度8年度については移行期間ということで、新旧どちらの制服でもいいという形をとりたいと思う。制服を導入すると、入学説明会のときにあのことがどうなるのか、このことがどうなるのかということが多々出てくるのが想定される。その入学説明会をするまでに、その子たちが3年生のときにな

ったらどうなるのかということを含めてその見通しを説明できるようにしておかないといけない。そのことはまだ決まっていませんというわけにはいかないのです、細かなことを決めていく必要があるだろうと考えている。学校指定物品だけではなくて部活動がどうなるのかとか修学旅行がどうなるのかとかそういうのも併せて現在の6年生の児童と保護者の皆さんにある程度の説明ができるように議論を進めていきたいと考えている。合わせて、中学校3年生になったときにその後勝山高校とどうつながるのか、勝山中学校に行ったお子さんが勝山高校に行くのに何か有利になるのか、どういう試験で行くのかということも質問いただくことになると思う。

- ・そういった意味でもその検討を始め方向性のある程度見通しておかないと、そこで混乱や不安を抱いてしまうようなことになってしまうといけないので、その方向性についても議論をお願いしたい。勝山で生まれた子ども達が他の市町に行かなくても地元に進学することで自分の夢や希望が叶う仕組みを作るにはどうしたらいいのか、このようなことで議論を進めていきたいと考えている。学校運営部会の皆様方にたくさん宿題があるが、ぜひご協力いただき、より良いものを作っていきたいと考えているので、どうぞよろしくをお願いしたい。

事務局 ・引き続きPTA部会と施設整備部会のことを説明させていただく。PTA部会だが、昨年度はスクールバスをずっと検討して、参考資料3にあると思うが、今朝定時定路線で走っている路線バスを利用してスクールバスとできないかというものを考えたルートである。ただ、これはたたき台なので、さらに検討を進めていきたいということである。それからPTAの組織について、今、3中学校に分かれているが、これが一つになるということで、どういうPTA組織にしていくといいのか、規約はどうするのか、役員の数とか、集金や予算などこういったことも話し合ってくださいということになるかと思う。次に施設整備部会は今教育長の方から丁寧に説明していただいたが、一応基本設計はこれで完成という形を今取っている。さらに、今後は詳細な実施設計についての進捗状況とかあるいは地下横断歩道については、工事にかかっていく進捗状況を話し合ってください、より良い施設になるようにあり方を協議していただきたい。さらに今ある3中学校の学校の歴史をどのような形で継承していくといいのかということも協議いただきたいと思っている。以上各部会の協議事項の一端を紹介したが、皆様の活発なご意見をもとにより良い学校を作っていきたいと考えている。ご協力のほどをよろしくをお願いしたい。

委員長 ・今の一連の説明を聞いて、質問とかご意見はいかがか。特にないか。初めての方もいらして1回目の会ということで少し発言しづらい雰囲気もあるのかもしれないが、遠慮なくどうぞ。

委員1 ・たくさん決めることがあるがどのように決めていくのか。

事務局 ・今項目だけを紹介したが、これまでの経緯あるいは現状から事務局が考えた案、これではどうかというたたき台を用意させていただいて、それについていろいろご意見いただいで進めていくということになるかと思う。

事務局 ・先ほど申し上げた学校運営部会の方は各専門部会の元にワーキングチーム会議という先生方の会議もある。現場にいるそれぞれ小中高の先生方に集まっていたいでいるので、原案を一旦学校の先生方はどうか、うまくいくかということも一段階踏んでいただく。その原案をさらに学校運営部会に上げていき、今度は皆さんの意見を聞きな

がら磨き上げていくという手順を踏みたいと考えている。

委員長 ・今の説明でよろしいか。これも去年お願いしたし、今年もお願いしたいと思っているが、事務局がたたきというか原案を作られるが、それに従わないといけないわけではないので、何か原案がおかしいとか違和感を感じたらどんどん意見を言っていただければと思う。それが皆さんの役割かなと思うので、決して事務局側に「はいわかりました。」というのは役割ではないかと思うので、よろしくをお願いしたい。他に何かご質問はあるか。

委員 2 ・今回初めてだが、今後は部会ごとに集められて会議という形で進めるということでのいいのか。

事務局 ・全部が一度にということではできないので、部会ごとにご案内することになる。そして部会でだいたい済んだ頃に、全体でこのように集まっていただいて共有していただいて、またご意見をいただいて、専門部会に戻すとかということもある。基本的には各専門部会で進めていく形になる。

委員長 ・即答できるかどうかかわからないが、昨年度は準備委員会とか専門部会はそれぞれ何回あったのか、目安として教えていただけるといいと思う。

事務局 ・記憶によると、準備委員会は5回やっている。1回は書面審議があった。合同でやった専門部会もある。総務部会が4回くらい、そして学校運営部会は6回くらい、PTA部会は2回、施設整備部会は4回か5回、失礼した。6回あった。これだけ数がいくかはまだ分からない。

委員長 ・あくまでも昨年度はということで同じ回数というわけではない。目安ということ。他にいかがか。よろしいか。少し気になっていることでもかまわない。実は少し気になっていることがとても大事な時があるので、遠慮なく出していただけたらと思う。

委員 3 ・集まりは急遽決まるのか、先に日にちを決めていただけるのか、その辺はどうなのか。

事務局 ・日程だが、急遽決まる。できるだけ早く日程を見ながら頑張っているが、内容によってまたすぐしなくてはいけないという事態も生まれる。できるだけ案内は早く出したいが、2週間前にぎりぎりになったりもする。本当は1ヶ月前ぐらいに決まると一番いいが、ご出席いただいている皆さんには申し訳ないが、2週間前になって急に案内ということもある。

委員 4 ・日程だが、各学校で役員会とか日程も決まっているので、それは考慮していただくような形になるか。急遽と言われると少し不安になってしまう。

事務局 ・各学校のPTAの集まりとか、あるいは市PTA連合会の集まりがあって極力避けるが、もしかするとぶつかる場合もある。

委員 5 ・建設基本設計の参考資料2の1階に相談室があって学校になかなか来れないお子さんへの配慮ということでこのような形はなかなかないのではと思った。先日ニュースでもやっていたが、学校の生徒は減っている。僕らが40代で、現役は9万人いたのが今小中学校6万人いて、3分の2になっているが、不登校の数は1400人で増えているということはパーセンテージが増えているなど計算ができる。今勝山の場合、北部、南部、中部が一つになるので、イメージとしてはそういった子は逃げ場がなくなるのか

などニュースを見て感じた。今のこういう相談室とか他の対応もあると思うが、そういったところもどこかの部会で協議されていくのかと思ったし、もしそのあたりがおざなりになるとなかなか親御さんとしては心配な部分があると思うので、そういったところは非常に重要だと思った。それからある程度関係者はいたが、県PTAの去年講演が東海北陸大会であって、学校の生徒の悩みで、例えば自ら命を断つという子の一番の理由が学業不振というふうに文科省の先生が言っていた。これは受験とかの悩みではなくて、本当に普通の学業で悩む子が、自ら命を断ってしまうということが増えていると言っていた。なかなか時代が難しいと思うが勝山で新しい学校になるとなるときにそうならないような仕組みや配慮みたいなところは考えるべきかと思うので、どの委員会ではと言えないが、そういうことは感じた。

委員長 ・今のご意見なども、全ての部会で意識しておかないといけない話なのかと聞いていて思った。

事務局 ・今の件に関してだが、私の方から最初に説明させていただいたが、おそらく新入学生への説明会を各中学校がするとき今のようなご質問は出てくると思う。どこまで準備できて決められるかは難しいかもしれないが、議論しているということは言わないと保護者が不安になる。今ほどのようにご提案いただければ学校運営部会の中の協議事項として結論は出なくても今協議中だということまでは、準備をしておく必要があると考えている。ぜひ今のように保護者の方や地域の方として気になるということについては、提案いただけると、協議の議題に入れられると思うのでよろしくお願いしたい。

委員6 ・今、基本設計が終わってこれから実施設計に入るということで、この事業スケジュールを見ていると、実施設計の期間がそんなにならないように思うが大丈夫なのか。

事務局 ・今ほど説明があつたが4月末で基本設計が終わったという話をさせていただいた。設計業者とは当初、6月末を実施設計という話をしたが、今回、基本設計が少し遅れたことによって8月末まで実施設計ということで、履行期限をとらせていただいた。その中で、しっかりと設計はまとめるということで、市と設計業者とは話をさせていただいている。そして、スムーズに建設の方に移れるような工程も取っていきたいと考えている。

委員7 ・業者選定が入札になって札入れがあると思うが、最近の中学校、敦賀市の角鹿小中学校とか不調が起きていると思う。実際今年度かなりの予算をつけていただいていると思うが、物価高騰や人員不足で市の思惑と応札者の金額が合わない可能性もあると思う。不調になった時にタイムスケジュールがかなりタイトになると思うがそのしわ寄せが現場の担当するゼネコンだったり下請け業者だったりにいかないようにしていただきたいがどうか。

事務局 ・物価高騰、人件費も今後上がっていくことも想定されるし、その辺も踏まえてしっかり工程を取るということで、設計業者と協議を進めているところである。

委員8 ・週休2日ということか。

事務局 ・労働基準法が改正されて、県内でもそういった動きが建設業、運輸業で4月から始まったが、業界の中で今話が出ているということも、設計業者もしっかりと捉えている。その辺も踏まえて、今後こういった発注の流れでということでも詰めているので、よろ

しくお願いしたい。

事務局 ・少し補足させていただくと、今質問されたのは建設基本計画の冊子を新しい委員の方にはお渡ししたのだが、一番最後のページに建設基本計画としてのスケジュールが出ている。実際事務局が申し上げたように、基本設計も当初の予定で少しずれてきたので、実はその計画に出ているスケジュールとは別の今新しいスケジュールを作っていて、令和9年4月に開校できるようにということで組み直しているものがある。今お手元にある基本計画のスケジュールとは変わっているということで、ご理解をいただければと思う。

委員長 ・他にいかがか。では今年度は今説明があったようなことで進めていきたいと思うので、今後各部会等でもぜひ活発なご協議をよろしくお願いしたいと思う。本来これを最初にしなないといけなかったのかもしれないが、初めての顔合わせのこの第1回の会で挨拶をしたのが、各部会の部会長と教育長だけだったので、ご発言をいただいた方もいらっしゃるが、改めて資料1の名簿順に、自己紹介というか、ご挨拶、抱負と言うわけでもないが一言ずつでもいただければいいかと思うのでお願いしたい。声を出さずに帰られるのも寂しいかと思う。

委員9 ・昨年度から委員に入っている。PTAとか、もちろん商工業界の関係で委員になっているかと思うので、その方向からいろいろ検討させていただきたいと思う。よろしくお願いしたい。

委員10 ・何もわからずに来ているので、少し勉強して1年間お手伝いできたらと思う。よろしくお願いしたい。

委員11 ・本当に分かっていないところで質問というのがしづらいのと、選定のところで学校が偏っているのかなと思った。小学校が9校あると思うが、全部入っているわけではないので選定されている理由はあると思う。分かっていないので教えていただけたらと思う。

事務局 ・小学校が6つしか入っていないということかと思う。これは南部ブロック、中部ブロック、北部ブロックに分けて2校ずつ入っている。スクールバスのこともあって、一番離れているところからのPTAの方にも参加していただいている。

委員12 ・今年から初めてということで、今の話を聞いていて、各部会の方の担当を見ていたら結構考えないといけないと半分プレッシャーではある。ただ先ほど言ったように事務局の提案をもとにということで、それに対してのPTAとしての意見ということ、また私自身も吸い上げながら言えていけたらいいかと思うので、よろしくお願いしたい。

委員13 ・今年度初めてだが、最初に話があった目的に沿った形で我々も重役だがしっかり考えていきたいと思う。地域の子ども達ではなくお年寄りではないが、市民の方の非常に関心も高い内容だと思う。人それぞれいろいろ言うとは思いますが、やはり決定機関というか、ここで決めるということをしかりしないと最終的に子ども達が路頭に迷うということは絶対避けないといけないと思うので、そういう観点でしっかり決めていきたいと思う。よろしくお願いしたい。

委員14 ・今年度からになる。皆様のご意見とか、いろいろ話し合いながら一緒に協力させて

いただきたいと思う。よろしくお願ひしたい。

委員 15 ・ 1年間、よろしくお願ひしたい。

委員 16 ・ 会議に来たら一言何かしゃべって帰ろうと思っているのでお願ひしたい。

委員 17 ・ 小中高と勝山で育った。先生方には迷惑をかけた方なので、まさかこんなところに来るとは夢にも思っていなかった。建てるものはどうなるかまだわからないが、子ども達にとってより良いものになるように皆さんと協力していきたいと思うし、会社で地盤関係の仕事をしているので、皆さんよりは地盤のこと、地中のことをよくわかっていの方なので何か聞いてほしい。よろしくお願ひしたい。

委員 18 ・ 今年度よりお世話になる。なかなか自分自身、どうしていったらいいか自分の意見というのなかなかないが、小学校の代表として皆さんの意見を吸い上げながら、お伝えできる形でこの会議に臨みたいと思っている。よろしくお願ひしたい。

委員 19 ・ 初めて参加させていただく。わからないことがあるがよく読んでよくお聞きして協議に参加していきたいと思う。よろしくお願ひしたい。

委員 20 ・ 自分自身、こういう会も初めてなので、わからないこともよくあると思うが、皆さんと一緒に力を合わせて一つでも決めることを決めていけたらと思うので、よろしくお願ひしたい。

委員 21 ・ 令和4年度の準備委員会スタートの年から参加させていただいている。勝山高校ではちょうどその令和4年度から探究学習を中心に据えたカリキュラムを作って探究特進科を発足させている。普通科を含めて探究活動に力を入れて、それが大学進学にもつながるように目指しているところである。実は今年度の卒業生は探究特進科の世代ではないが学校全体でこういう探究活動に取り組んでいて、その卒業生が大学の進学でも実績を残して、京都大学に2名、大阪大学に1名という結果を残してくれた。学校全体でそういう探究活動に取り組んでいる成果が少しずつ出てきているのではないかなと思っている。実際、生徒のほうも今、生き生きと探究活動に取り組んでいる。対話力、あるいはプレゼン、いわゆる発表する力、それから発表するためにいろいろ自分の考えをまとめる上での論理的思考力、そういうところがどンドンついていくのを学校で生徒を見ていて思う次第。こういう状況がなかなか学校としても発信できていないというところがあって、一昨年度は学校の定員がちょうど満たされて、今の2年生は定員通りの生徒が入ってきたが、今年は残念なことに定員割れを起こしたという状況になっている。引き続き学校の魅力等を発信していきながら、新しい中学校の生徒もどンドン勝山高校を目指してくれるような魅力のある学校にしていきたいと思う。また、皆さん方のいろいろなお話を伺いながらそういう学校をつくっていきたいと思っているので、どうぞ、よろしくお願ひしたい。

委員 22 ・ 明るくて元気な子ども達を大切にしながら、新中学校の理想と現実のすり合わせに努力していきたいと思う。どうぞ、よろしくお願ひしたい。

委員 23 ・ 自分が子どもの頃は700弱いた中部中生がいま180ということでびっくりする一方で、先ほどおっしゃったが、探究とか昔なかった学びの方法もすごく充実していて、子ども達はのびのびとやっている。今年1年間、どうぞ、よろしくお願ひしたい。

委員 24 ・ いろいろ出たが、簡単に中学校の現状を言う。テスト、いわゆる中間テスト、期末テ

ストは既に3中で揃っていて同じ日にしている。これは教職員の働き方改革もあるが、一学期の中間テストは、例えば北部中学校の先生が全部作るということで、全ての教科、全ての学年ではないが、今年の1年生については五教科は全部テストを作る当番を決めて共有をかけている状態。来年度に向けて来年度1年生が3年生になるということで今年からまず試行ということで進めている。行事については9割ぐらいほぼ揃っている。北部中学校は少しずれていたが、今年の修学旅行を春に持ってきて、3中学校とも春に行く。都合上、日までは合っていない。5月に修学旅行、北部は体育大会を秋に持って行って、それぞれ体育大会を秋に1日、学校祭も秋に1日という流れになっている。3中学校の校長は月に1回は必ず校長会で話をするが、特に今年は来年度の1年生が一緒になるということで、それを意識して学校運営を進めていきたいと思う。学校運営部会とも連携しなければならないところもあるが、また他の皆さんのご意見も参考にしながら学校運営を進めていきたいと思うので、ご協力をよろしくお願いしたい。

委員 25 ・とても課題が多いなと今年初めてなので感じた。でも、皆さんで力を合わせて、勝山市民にとって子ども達にとって自慢となる学校になるように、これから皆さんで力を合わせて、自分も意見を提案しながら素敵な学校を作れるといいなと感じた。よろしくをお願いしたい。

委員長 ・いくつか印象に残った言葉などを触れさせていただくと、初めてなのでよくわからないという発言があったが、そこが実はとても大事で、こういう委員会とか組織は分かっている人ばかりになると、逆に何も見えなくなってしまう部分が多々あるので、ぜひ初めて入られて感じる違和感とかえっと思うようなことを遠慮なく出していただけたらと思う。ベテランばかりになると本当に何が問題かもわからなくなってきってしまう部分があったりするの、本当に貴重なご意見をこれからも出していただけたらと思う。そして先生方に迷惑をかけたという発言もあって、本当かどうかは分からなくて、ご謙遜だと思うが、安全安心、不登校の発言もあった。去年もお願いしたが、何割かのほぼ全員が枠に入っているのだがその枠に入れない子がいるような学校ではやはりダメだと思う。一人残らず全員が入れるような枠になるような考え方としてルールにしても建物にしてもそうだが、そういう学校であってほしいと皆さんの発言を聞いて改めて思った。そしてここ2年、3年ほど経つかと思うが、探究という話があった。自分で課題に設定して仮説とか問いを作って、それで調べていくということだが、国公立私立の大学の入学定員、いわゆるペーパーテストの点数だけで入れる定員というのはもう50%を切っている。50%以上が自分が何をやってきたかというのを大学に伝えて語ってこういう高校生活を送ってきた、こうやっていろいろやってきたというのをアピールしてそれで入っていく定員が、50%超えている。そういうこともあってこの探究というか、自分がどのように問いを作って調べるといのは探究なのだが、結果的にもそれは人生の生き方でもある。何に頑張って取り組んできたのかというのを語れる生徒というのが、今世の中も含めて求められているので、補足になるが、大学入試の定員でいうと点数だけで入れる定員100%の大学はない。東大京大も含めて全部自分が何をやってきたかということを語るような今世の中が変わっているので補足としてお伝えをしておきたいと思う。まだ少し時間があるがいかがか。途中皆さんの発言を聞いて気になったとか、もう少しこれを聞いてみたいとかいうことがあったらどうぞ。

- 委員 26 ・この場に来るのは代理の人でも可能なのか。それはしない方がいいのか。
- 事務局 ・委嘱書があるようにその方をお願いしているのですが、もし、ご都合が悪い時にはこちらから、後日資料なりご説明に伺うという形をお願いしたいかと思う。
- 委員 27 ・私はよくわかっていない中で、今から勉強しなくてはいけないというところが大半だが、世の中では反対している人がいるように聞いている。分断が起きないように説明というか、どうしたら大多数の人が納得してもらえるかというような努力が必要なのではということはある。ただ情報をどこまで出していいのかは決まっていかなないと、本当に全部決まってからではないと出せないことが多いと思う。情報で共有することによって理解を求めるしかないし、相手の思っていることを汲み取ってあげないとまとまっていけない。亀裂が深まっていくのではないかと少し心配なところがあって置いてけぼりにしているような雰囲気や若干感じていてどうするべきか。反対のために反対している人たちは仕方ないと思うが、そこだけ配慮いただきたいをお願いしたい。
- 事務局 ・我々も周知の仕方とか少しでもわかっていただけるように、また努力していきたいと思っている。
- 委員 28 ・自己紹介されて名札のある方はわかるが後ろの方はわからない。この場はオープンな会議ということでオブザーバーなのか。
- 委員長 ・その説明をお願いします。
- 事務局 ・再編準備委員会については公開することになっていて、傍聴の方を受け入れている。一般の方、どなたでも聞いていただくことができる。専門部会については、会の中で意見を出しやすとかいろいろな細かい話をさせていただくので、非公開とさせていただいている。
- 委員 29 ・通知は市のホームページとかでやるのか。
- 事務局 ・日程については、報道の方にいついつどこですするというのを投げさせていただいている。
- 事務局 ・補足をさせていただくとこの会議の議事録をホームページにアップするという話をさせていただいたが、その際には名前は外して委員 1、委員 2 という形でどなたが言ったのかはわからない形で、議事録には載せさせていただくので、発言は遠慮なくどんなことを言っていただいても結構なので、そういうことでご了解いただければと思う。
- 委員長 ・他、いかがか。どんなことでもどうぞ。
- 委員 30 ・今年度、大野市が中学校が 2 つになったので、おそらくこういった準備委員会等々の流れは当然踏まえた上でされているように思う。大野市といわゆる奥越地区とのいろいろな関係各所との連携で、例えばこういったところは協議するまでもなくではないが、やはりこれが一番いいというところがあるかもしれないが、令和 9 年、もう時間ないと思うので、何も考えずやるというのは非常に危険だと思う。効率よくやっていくというところは非常に大事なと思うし、嶺南とか確か小学校も合併しているところ等々もあると、この準備委員会で本当に勝山で決めないといけないのか、勝山でなくてもいろいろな過去の事例で決められることがあるのかと

いうところも、情報はもちろんなくてなかなか調べきくことも難しいので、そういった事例があったら教えていただいてそれについてどうだこうだと言えるといいのかと感じた。

事務局 ・去年、いろいろ検討いただいた制服の話などについては、福井市の九頭竜中学校が令和8年に開校するというので、その取組を参考にさせていただいている。中学校という意味では南条中学校が3中学校をまとめて1つになっている事例がある。他に指摘いただいたように、大野の方が2校になったが、大野の場合は今ある中学校が吸収したような形なので、ほとんどのことが現陽明中学校、開成中学校のものを使っていくという形になるので、参考にならない部分もあるが参考になるところは参考にさせていただいて、そういった先行事例を協議していく。小浜の方、敦賀の角鹿小学校、この辺りも参考にさせていただいて、原案を作らせていただいているということである。

委員長 ・他はいかがか。特にはないか。今日は第1回ということで、特に初めての方は緊張されておられると思う。少しお疲れだと思うので、予定は9時ということだが、少し早めに終わってもよろしいか。それでは少し早いがこの辺で私の司会のところは終了したいと思います。事務局にお返す。

事務局 ・以上で第1回勝山市立中学校再編準備委員会は終わりとさせていただきたい。次回は今のところ7月頃を予定している。議題によっては、それより前に署名による審議などもお願いする場合もあるので、その場合、ご了承をお願いしたい。今後は再編準備委員会の前には各部会の方を開催していくことになるかと思う。早速だが、学校運営部会については5月14日を予定させていただいている。委員になっておられる方には改めて通知を出させていただきたいと思うので、予定の方をよろしくをお願いしたい。会場の方は、今回初めてジオアリーナでさせていただいた。いつもは教育会館の会議室でさせていただいているが、その時の状況に応じて会議室を予約させていただくので、通知の方で連絡させていただく。それでは、本日大変お忙しい中集まりいただき、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

資料1. 資料1. 令和6年度勝山市立中学校再編準備委員会委員名簿

資料2. 勝山市立中学校再編準備委員会条例

資料3. 勝山市立中学校再編準備委員会開催要項

資料4. 令和6年度準備委員会（専門部会）検討・協議事項（案）

資料5. 勝山市立中学校建設基本計画

参考資料1. 令和6年度広報4月号抜粋

参考資料2. 令和5年度広報1月号抜粋

参考資料3. 勝山市立新中学校スクールバス路線図（案）